

みずほCustomer Desk Report 2018/08/10号(As of 2018/08/09)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.86
TKY 9:00AM	110.90	1.1611	128.72	1.2880	0.7427
SYD-NY High	111.17	1.1619	129.00	1.2911	0.7453
SYD-NY Low	110.71	1.1526	128.05	1.2819	0.7371
NY 5:00 PM	111.06	1.1526	128.07	1.2828	0.7375
NY DOW	25,509.23	▲ 74.52	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	7,891.78	3.46	日本10年債	0.1100	0.00bp
S&P	2,853.58	▲ 4.12	米国2年債	2.6473	▲ 2.45bp
日経平均	22,598.39	▲ 45.92	米国5年債	2.8084	▲ 2.54bp
TOPIX	1,740.16	▲ 4.55	米国10年債	2.9285	▲ 3.43bp
シカゴ日経先物	22,575.00	▲ 5.00	独10年債	0.3730	▲ 2.25bp
ロンドンFT	7,741.77	▲ 34.88	英10年債	1.2955	▲ 1.70bp
DAX	12,676.11	42.57	豪10年債	2.6530	▲ 2.00bp
ハンセン指数	28,607.30	248.16	USDJPY 1M Vol	6.25	▲ 0.02%
上海総合	2,794.38	50.31	USDJPY 3M Vol	7.36	0.09%
NY金	1,219.90	▲ 1.10	USDJPY 6M Vol	7.65	0.10%
WTI	66.81	▲ 0.13	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	192.43	▲ 0.61	EURJPY 3M Vol	8.18	0.13%
ドルインデックス	95.50	0.45	EURJPY 6M Vol	8.49	0.06%

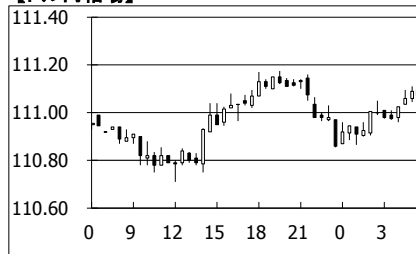
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月9日	10:30	中 PPI(前年比)	7月 4.6%	4.5%
	10:30	中 CPI(前年比)	7月 2.1%	2.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 213k	220k
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	7月 0.0%/3.3%	0.2%/3.4%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	6月 0.1%	0.0%
8月10日	02:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「最大で年内あと2回の利上げ妥当」	

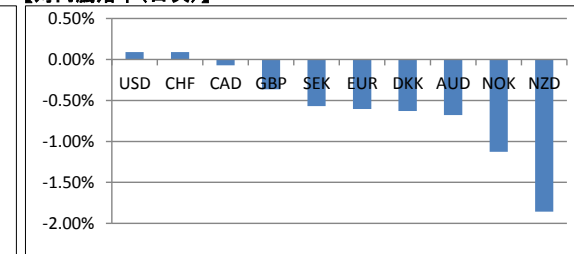
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月10日	08:50	日 GDP(季調済/前期比/年率)・速報	2Q 0.3%/1.4%	-0.2%/-0.6%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	2Q 0.0%	0.5%
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 0.3%/0.7%	-0.4%/0.8%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	6月 0.3%/1.0%	0.4%/1.1%
	17:30	英 GDP(前期比/前年比)・速報	2Q 0.4%/1.3%	0.2%/1.2%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	7月 0.2%/2.9%	0.1%/2.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.1450-1.1600	127.00-129.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は、狭いレンジで揉み合い方向感無く推移した。特段ニュース等が見当たらない中、高値111.17円をつけたドル円相場は、米7月PPIが市場予想を下回ったことで反落したが、エマージング通貨やユーロ主導のドル買いにサポートされ、111.06円でクローズした。本日のドル円相場は引き続き方向感の無い展開を予想する。日米新貿易協議が行われているが、初会合ということもあり大きな成果は出難いだろう。さらに本日は米国の7月CPIの発表が予定されているが、大きな材料にはなり難く、ドル円相場のレンジでの推移を予想する。

アジア	東京時間のドル円は110.90レベルでオープン。前日からの流れを受けてドル円は朝方から上値の重い推移が続く中、軟調な日経平均株価も相俟って110.71まで下落。中国上海株が堅調推移を見せるも、日米通商協議を控えた様子見姿勢からか動意に乏しく小幅レンジ内での横這い推移。引けにかけては、特段目立ったヘッドライン等ない中でフロー主導と思われる動きに一時111.04まで急騰。その後は111円を挟んでの揉み合う展開となり、結局111.03レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.03レベルでオープン。アジア時間に中国株が前日比大幅上昇となる中でドル円相場も上昇基調となった後、欧州時間は特段目立ったヘッドラインもなく小動きとなった。110.97～111.17の狭いレンジ内での取引となり結局111.15レベルでNYに渡った。ユーロは、1.1608レベルでオープン。アジア時間の円売りドル買いに連れて対ユーロ相場でもドル買い優勢地合いとなり一時1.1577まで軟化。しかし前日安値を下回らなかったことで反発し、1.1607まで値を回復。結局その流れも続かず、1.1590レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2876レベルでオープン。特段の材料もなく、ユーロ相場に連られる格好に一時は直近安値の1.2842まで下落したものの、安値更新とならなかったこともあり、1.2911まで買い戻されて1.2887レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は夏枯れ相場のなか110.71まで下落したが、特段目新しい材料もないなか111円台を回復すると緩やかに上昇し、111.15レベルでNYオープン。朝方は米7月PPIが前月比・前年比ともに市場予想を下回ったことから米金利の低下とともに110.86まで下落したが、トランプ政権によるトルコとロシアへの制裁が嫌気される中で新興国通貨が軒並み下落すると、対エマージング通貨やユーロでのドル買いにサポートされてドル円は111.13まで反発。結局111.06レベルでクローズ。なお、トルコリラはこの日対ドルで一時5%超下落し、過去最安値を更新した。また、NY時間午後からワシントンで日米通商協議(FFR)が始まったが、特段ヘッドライン等はなく市場の反応は限定的となった。一方、ユーロは1.1590レベルでNYオープンし、1.1600まで上昇。しかし、新興国通貨が軒並み下落するなかユーロも連れ安となり、またリスク回避姿勢の高まりにユーロが128円台半ばを割り込み6月29日以来の安値まで下落したことも下押し圧力となり、ユーロは直近安値を下抜け、ストップを巻き込みながら1.1526まで下落。そのまま1.1526レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:牧・鶴田